

山のみち地域づくり計画概要書

地区名	島根西部地区	振興山村又は過疎地域の指定年月日	平成12年4月1日・平成16年11月1日 (過疎地域)
道県名	島根県	関係旧緑資源幹線林道の路線・区間名	金城・三隅線 金城弥栄区間 〃 三隅区間 波佐・阿武線 匹見美都区間
市町村名	浜田市 益田市		

地区の概要	「島根西部地区」は県西部の浜田市、益田市の2市町からなり、西は山口県、南は広島県及び鹿足郡津和野町、吉賀町、東は江津市及び邑智郡邑南町、北は日本海に囲まれた東西74km、南北52km、総面積142,385haの地域である。 気候は12.2～15.6℃と比較的温暖で、年平均降水量は1,515～2,302mmである。 地域の総人口はH27.10.1現在で105,823人で、ピーク時の昭和30年の187,699人から約44%に減少している。 高速道路は浜田道が開通済みであるが、山陰道は部分的に開通している。国道は9号、186号、191号、488号があるが、これらを有機的に結ぶ役割の県道は改良が遅れ延長の約5割が未改良のままである。
森林・林業及び生活環境整備の現況	当地域の森林面積は総面積の83.9%を占める119,396haである。 民有林面積は115,096ha(96.4%)で、その内人工林率は29.1%(県平均37.5%)で、広葉樹を主とした天然林の割合が高い。 木材生産業者等による、広葉樹を主体とした製紙用チップ用材の生産、木質バイオマス発電施設へのチップの供給、スギを主体とした合板用材の生産が盛んである。 計画路線沿線には、多数の集落、観光施設、事業所があり、災害時の迂回路、観光客の重要な交通網、生活道としての機能も期待されている。
山のみち地域づくり目標と設定の考え方	典型的な過疎地において林業等による地域振興を図るため、適切な森林整備の実施や効率的な木材生産活動を推進し、地域の生活環境の改善や交流人口増のための基幹的な林道整備を行う。 (内計画期間内での目標) ○適切な森林施業の推進
山のみち地域づくりの指標と設定の考え方	(内計画期間内での指標) ○適切な森林施業の推進・森林整備の実施面積(124ha)
目標・指標と整備容との整合性	林道開設により総利用区域面積6,918haのうち、約38%を占める2,596haの人工林において、森林整備の振興が期待できる。これは目標として掲げた『適切な森林施業の推進』と整合している。

当該事業による整備 目標及び総事業費	目 標：適正な森林整備と効率的な林業生産活動を行う 総事業費：2， 8 2 0 百万円				
	事業種目	内 容	事業量		事業費(百万円)
林 道 整 備 の 内 容 及 び 事 業 費	開設	金城弥栄線	幅員 延長	7 m 2,500m	2,001
		三隅線	幅員 延長	7 m 2,053m	499
		匹見美都線	幅員 延長	5 m 200m	280
		小 計		4,753m	2,780
作 業 道 等 整 備 の 内 容 及 び 事 業 費					
地 域 創 造 型 整 備 の 内 容 及 び 事 業 費	開設	美都線	幅員 延長	4 m 100m	40
事 業 見 直 し 調 査 の 内 容 及 び 事 業 費					
林内道路密度等	17.7m/ha（浜田市22.6m/ha・益田市13.3m/ha） 県平均16.6m/ha				
各 種 計 画 等 の 策 定 状 況 等	地域森林計画：平成20年登載 地域の振興を図るための計画として、市町ごとに過疎地域自立促進計画・山村振興計画・市町村森林整備計画を策定し、農林業の基盤整備や林業の振興・地域の活性化を図っている。 県においても「新たな農林水産業・農山漁村活性化計画」を推進中で、木材生産の低コスト化や安定供給体制を整備し、循環型林業の確立を目指している。				